

農 業

「農林業センサス」における「農家」とは、調査期日（各年2月1日）現在の経営耕地面積が0.1ha以上の農業を営む世帯、または経営耕地面積が0.1ha未満であっても、調査期日前1年間の農産物販売金額（以下「農産物販売金額」とする）が、15万円以上の世帯をいう。

「農家」は、経営耕地面積が0.3ha以上または農産物販売金額50万円以上の「販売農家」と経営耕地面積が0.3ha未満かつ農産物販売金額が50万円未満の「自給的農家」の二つに分類される。

「農林業センサス」は、農林業経営の実態をよりの確に把握するため、平成17年調査より、一定規模以上の農林産物を生産または委託を受けて農林業を行う世帯や組織である「農林業経営体」を調査対象としている。令和2年調査の結果についても、公表される内容が変更されたことから、令和3年版より「農林業経営体」を対象とした資料を掲載している。

なお、「農林業センサス」は5年に一度実施され、令和2年の結果が現時点で最新のものとなる。

3-5. 農家数・農家人口の推移

各年2月1日		(単位：戸、人)			
年	農 家 数			農 家 人 口	
	総数	専業	兼業	男	女
平成12	1,694	196	1,077	4,108	4,071
17	1,414	203	884	3,179	3,181
22	1,323	191	650	1,852	1,842
27	1,217	212	463	1,290	1,299
令和2	851	-	-	-	-

(注1) 販売農家（経営耕地面積0.3ha以上または調査期日前の1年間の農産物販売金額50万円以上の農家）のみ専業・兼業の別を調査しているため、専業農家数と兼業農家数の合計は総数とは一致しない。

また令和2年調査より専兼業別の統計は廃止となったため、算出されていない。

(注2) 農家人口の数値は、平成22年、平成27年調査については販売農家のみの集計値となっている。

なお、令和2年調査においては、算出されていない。

資料：農林業センサス

3-6. 地区別総農家数

令和2年2月1日		(単位：戸)	
地 区	総農家数	販売農家数	自給的農家数
総 数	851	399	452
桜 井	87	26	61
新 方	110	52	58
増 林	167	85	82
大 袋	66	23	43
荻 島	163	104	59
出 羽	99	53	46
蒲 生	26	7	19
川 柳	30	12	18
大相模	77	25	52
大 沢	23	12	11
越ヶ谷	3	-	3

(注) 地区別は旧町村の地域に対応している。

資料：農林業センサス

3-7. 経営耕地面積規模別経営体数

各年2月1日

(単位：戸)

年	農業 経営体数 (注)	経営耕地 なし	経営面積						
			0.3ha未満	0.3～ 0.5ha未満	0.5～ 1.0ha未満	1.0～ 1.5ha未満	1.5～ 2.0ha未満	2.0～ 3.0ha未満	3.0ha以上
平成22	846	-	7	175	366	169	70	38	21
27	680	1	6	136	291	125	64	35	22
令和 2	417	26	11	63	170	64	44	16	23

(注) 経営耕地面積が0.3ha以上、農産物販売金額が50万円以上等、一定の条件を満たす農業を行う者

資料：農林業センサス

3-8. 農産物販売金額規模別経営体数

各年2月1日

(単位：戸)

年	農業経営体数 (注)	販売なし	販売金額				
			100万円 未満	100万円以上 300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円 以上
平成22	846	177	408	126	45	54	36
27	680	134	329	105	31	47	34
令和 2	417	96	158	67	32	31	33

(注) 経営耕地面積が0.3ha以上、農産物販売金額が50万円以上等、一定の条件を満たす農業を行う者

資料：農林業センサス

3-9. 作物種類別作付面積（露地）

各年2月1日

(単位：a)

年	作付 (栽培) 面積計	作物種類								
		稲	麦類	雑穀	いも類	まめ類	工芸 作物類	野菜類	花き類 ・花木	その他 の作物
平成22	67,990	55,818	-	-	57	441	35	10,360	1,135	144
27	68,288	54,837	×	×	31	175	×	13,024	×	221
令和 2	63,595	51,885	-	×	204	496	×	9,615	×	1,395

(注1) 樹園地は含まない。

(注2) 平成27年：「まめ類」は「小豆」を除く。

(注3) 令和2年：「稲」は「陸稲」を除く。「いも類」は「ばれいしょ」を除く。「まめ類」は「小豆」を除く。「その他の作物」には「稲（飼料用）」を含む。

資料：農林業センサス

3-10. 用途別農地転用面積

各年中

(単位：a)

年	総計	用途別							
		住宅用地	工・鉱業 用地	学校用地	公園・運 動場用地	道水路 鉄道敷地	その他の建 物施設用地	植 林	その他 不明
令和4	1,944	807	-	36	24	54	279	-	744
5	1,531	716	-	-	-	78	110	-	627
6	1,680	694	5	-	-	49	6	-	926

(注) 農地法第4条、5条の届出・許可・それ以外の転用

資料：農地権利移動・借賃等調査（農林水産省経営局）

3-11. 農地転用状況

各年中

(単位：a)

年	総計			市街化区域		調整区域	
	計	4条	5条	4条	5条	4条	5条
令和4	1,751	235	1,516	194	477	41	1,039
5	1,327	179	1,148	75	466	104	682
6	1,381	155	1,226	134	369	21	857

(注) 農地法第4条：自己の用に供するため、農地を農地以外のものにする。

資料：農業委員会

農地法第5条：所有権の移転、その他の権利の設定を伴い、農地を農地以外にする。

3-12. 地区別農地転用面積

各年中

(単位：a)

地 区	令和4年	5年	6年
総 計	1,751	1,327	1,381
桜 井	90	163	96
新 方	114	29	72
増 林	224	227	89
大 袋	292	283	252
荻 島	96	73	41
出 羽	416	265	409
蒲 生	64	41	36
川 柳	134	77	118
大 相 模	206	104	250
大 沢	39	43	11
越 ケ 谷	76	22	7

(注) 地区別は旧町村の地域に対応している。

資料：農業委員会